

アンネの日記 (1959)

THE DIARY OF ANNE FRANK

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 150分
初公開日 1959/09/08
公開情報 FOX
リバイバル 1979/03 [東映洋画]

【解説】

世界的なベストセラーで、今なお読み継がれているアンネ・フランクの短い一生を綴った同名原作の映画化。ストーリーはご存じの通りであるが、ナチスの足音に怯えながら、息を潜んで暮らす家族たちの過程がサスペンス・タッチで描かれ、なかなかの緊迫感を写し出している。また、アカデミー撮影賞、美術監督賞（ともに白黒部門）を受賞した映像も、最後まで人を疑おうとはしなかったアンネの心を投影するような美しさを表現し、映画デビュー作にして主役に大抜擢されたM・パーキンスの清楚で可愛らしい表情に花を添えている。決してアカデミー作品賞を受賞してもおかしくはないほどの出来なのだが同年は「ベン・ハー」という最強な敵の存在の前に、原作同様可哀相な運命を辿った不運な作品であった。尚、本作でS・ウィンターズが名脇役ぶりを発揮して、アカデミー助演賞を受賞している。

【クレジット】

監督	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens	
製作	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens	
原作	アンネ・フランク	Anne Frank	
脚本	フランセス・グッドリッチ	Frances Goodrich	
	アルバート・ハケット	Albert Hackett	
撮影	ウィリアム・C・メラ	William C. Mellor	
特殊効果	L・B・アボット	L.B. Abbott	
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman	
出演	ミリー・パーキンス	Millie Perkins	アンネ・フランク
	シェリー・ウィンターズ	Shelley Winters	ファン・ダーン夫人
	ダイアン・ベイカー	Diane Baker	マーゴット・フランク
	リチャード・ベイマー	Richard Beymer	ピーター・ファン・ダーン
	ジョセフ・シルドクラウト	Joseph Schildkraut	オットー・フランク
	ルー・ジャコビ	Lou Jacobi	
	ダグラス・スペンサー	Douglas Spencer	
	エド・ウィン	Ed Wynn	